

研修だより



世羅町立せらひがし小学校
研修だより 第8号
令和元年8月26日

指導案検討、お疲れさまでした。豊田先生には、本時の展開だけでなく、指導案全体を細かく指導して頂きました。指導案検討の後、豊田先生が「どの先生も、指導を前向きに捉えてくださり有難い。」と話しておられました。指導案検討での指導を簡単にまとめたので、指導案を修正する際、参考にしてください。



1 豊田先生の指導から

①単元の系統を囲む。

→指導案の7指導計画のように、5単元の系統の本単元を太字で囲む。(2. 25Ptで囲む。)

②「はかせ」を使う場面を吟味する。

→算数科で、「はかせ」の考え方は大切だが、本当に「はかせ」が必要な場面かを考える。子供から「はかせ」の考え方に気付くのは良いが、「はかせ」に引っ張られすぎないようにする。(子供によって「はかせ」はそれぞれ。「はかせ」でなくても、問題を解くことができれば、目標を達成している場合もある。)

③単元名を統一する。

→単元名が、「面積のはかり方と表し方『広さを調べよう』」となっているときは、「広さを調べよう」だけでよい。

④表現力について

→3単元について○指導観の部分に、「本単元で育成すべき資質・能力【表現力】」が詳しく明記されているから、6本単元の目標・評価規準の資質・能力の部分はカットする。

⑤主体的・対話的で深い学びについて

→6本単元の目標・評価規準の評価規準の部分と、4単元について○指導観の部分の連動性を確認する。(評価規準の文を指導観に少し加えると良い。)

⑥ねらい・課題・まとめが連動しているか。

→本時のねらい、設定した課題、まとめが全て連動しているか、もう一度確認する。

<その他>

- ・表がページをまたぐ場合は、一番下の線はカットする。
- ・主体的な姿が、導入だけで終わらないようにする。
- ・児童の振り返りは、児童から出なくても、教師側はきちんと持つ必要がある。
- ・ねらいでないところで、時間を取らないようにする。
- ・本時の展開部分では、学習指導過程を、導入・展開・終末を区切る。